

ドラコニア逍遙

オマージュ瀧澤龍彦展

秋吉巒、伊豫田晃一、巖谷國士、柄澤齊、合田ノブヨ、桑原弘明

近藤ようこ、高松潤一郎、建石修志、林由紀子、山本六三、四谷シモン



【特別展示－瀧澤龍彦コレクション】

ハンス・ベルメール、マックス・ワルター・スワーンベリ、金子國義

2025.12.6 |土| - 28 |日|



瀧澤龍彦撮影 サド侯爵の城 1977年

展覧会記念トークイベント 〈ドラコニア夜話〉

12月6日（土）18時～ 対談：東雅夫氏 × 山尾悠子氏「ドラコニアの周辺より」

12月7日（日）18時～ 講演：巖谷國士氏「瀧澤龍彦とは誰か」

詳細はギャラリーのホームページをご覧のうえ、メールでお申し込みください。

GALERIE L'OEIL ギャラリーロイユ

homage to TATSUHIKO SHIBUSAWA

DRAMA ドラマニア 逍遙 濵澤龍彦展

オマージュ

秋吉巒、伊豫田晃一、巖谷國士、柄澤齊、合田ノブヨ、桑原弘明、近藤ようこ、高松潤一郎、
建石修志、林由紀子、山本六三、四谷シモン

2025年12月6日(土) - 28日(日) 13:00 - 18:00 (水木休廊)

秋吉巒 /Ran Akiyoshi

1922年、旧日本統治下の朝鮮に、日本人の両親のもとに生まれる。独学で美術を学び、独自の幻想美を追求し続けた。生計のため風俗誌や雑誌に装画、挿画を提供するなど商業的な仕事を請け負いつつ、自らの幻想絵画を世に売るところなく、個展すら開かずには画家としての生涯を過ごした。濵澤龍彦は「通俗シュルレアリズム」と評し、「ひたすら自分の夢をつむいだ」と賛した。1981年没。

《キルケ》

油彩、320×410mm



林由紀子 /Yukiko Hayashi

1958年東京生まれ。静岡県三島市在住。坂東壯一に銅版画を師事。鉛筆画、ペン画、銅版画を制作し、ヴァーノン・リー、フィオナ・マクラウド、タニス・リー等幻想文学の書籍の挿画、表紙絵を手がけている。2025年、濵澤龍彦「暗黒のメルヘン」「変身のロマン」の装画に銅版画作品が使用される。銅版画蔵書票集「ブッシュの震える翅」、作品集「ペルセポネー回帰する植物の時間」を出版。

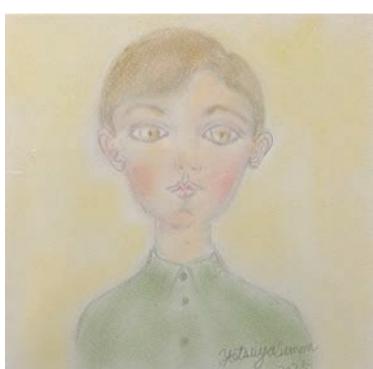
《ペルセポネーの花と闇》

銅版画に手彩、176×120mm

四谷シモン /Simon Yotsuya

1944年東京生。10代から人形をつくる。1965年濵澤龍彦の記事でベルメールの作品を知り球体関節人形制作にめざめる。1966年唐十郎と出会い、数年間状況劇場公演に出演。1973年濵澤龍彦からのオマージュを受け人形の初個展開催。1978年人形学校エコール・ド・シモン設立。2000年から全国の美術館で巡回展。著作に『人形作家』(講談社現代新書)、『少年の顔』(講談社現代新書)。

パステル画、160×160mm

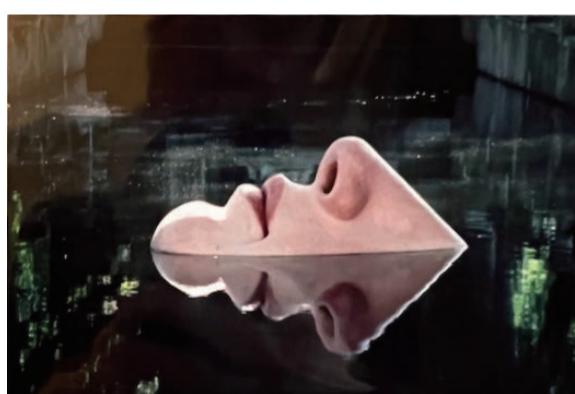


巖谷國士 /Kunio Iwaya

1943年、東京生、東大卒。仏文学者、写真家、明治学院大学名誉教授。63年から濵澤龍彦と親しく交友し、シュルレアリズムの研究と実践を続ける。主著に『シュルレアリズムとは何か』『濵澤龍彦論コレクション』全5巻、ブルトン『ナジャ』ほか多数。

《メディシスの泉の不思議》

カラー銀塩プリント、203×305mm



柄澤齊 /Hitoshi Karasawa

1950年栃木県生まれ。版画、絵画、オブジェ、彫刻を制作。18世紀の印刷機を使用し梓丁室のプレス名で版画集等出版。06年、栃木県立美術館、神奈川県立近代美術館で回顧展。著書に『柄澤齊木口木版画集』、エッセイ集『銀河の棺』、長編小説『ロンド』、『黒富士』など。装丁装画に『堀田善衛全集』『決定版三島由紀夫全集』『西行花伝』などがある。

《毒薬の手帳》

木、紙、ガラス、墨、水彩、インク、アクリル
180×135×40mm

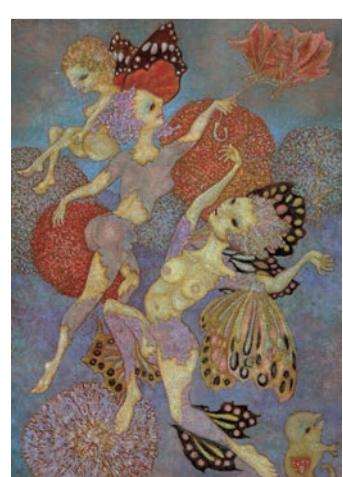


高松潤一郎 /Junichiro Takamatsu

1941年北海道小樽生まれ。立教大学理学部数学学科中退。サンドベーパーで滑らかにしたキャンバスに絵の具を塗り広げてイメージを捉え、シュルレアリストイックな七色の浮遊する女性群像を描く。1968年の青木画廊の個展では、濵澤龍彦が推薦文を寄せた。

《嵐蝶》

油彩、227×157mm



合田ノブヨ /Nobuyo Goda

1972年生。画家、合田佐和子の次女。幼い頃より芸術に携わる環境で育つ。10代よりコラージュを制作・発表。高校在学中にテレビドラマのタイトルバックを制作。吉本ばなな、皆川博子、シャーリイ・ジャクソン等書籍の装画、雑誌、新聞の挿画を多数手がけている。近年はコラージュに加え、オブジェ作品も制作。

《採集者》

コラージュ、265×200mm



GALERIE L'OEIL ギャラリー・ロイユ

桑原弘明 /Hiroaki Kuwabara

1957年茨城県生まれ。多摩美術大学油画科卒業。極小のオブジェ作品を制作。1995年巖谷國士の序文を得て初個展。2001年村季弘の序文を得て個展。著書に『スコープ少年の不思議な旅』(巖谷國士・文)、『Scope 桑原弘明作品集』、『湖畔地図製作社』(長野まゆみ文)

《scope「聖なる眠りよ」》

ミクストメディア

63×69×65mm



近藤ようこ /Yoko Kondo

漫画家。1979年、「ガロ」でデビュー。作品に「ルームメイツ」「水鏡綺譚」「五色の舟」(津原泰水原作・文化庁メディア芸術祭漫画部門大賞受賞)など。2019~2021年、コミックビーム誌にて濵澤龍彦の小説を漫画化した。「高丘親王航海記」を連載。

《摸園》

水彩、175×250mm



伊豫田晃一 /Koichi Iyoda

銅版画・水彩・油彩・彫金・オブジェ等制作。皆川博子、小池真理子等小説の装画、服飾・装飾品デザインなど多方面で活動。作品集「ASTROLABE」、「Magnum Opus」「Tenebris Lux」(二巻組)、掌篇集「マルジナリア」(ロクス文庫)を出版。ヨウジヤマモトのブランド「S'YTE」とのコラボレーションなど活躍の場を広げている。

《Black magic》

木製ハンドマネキンにジェッソと油彩
295×170mm (手首本体高さと台座直径)



建石修志 /Shuji Tateishi

東京芸術大学美術学部VD卒業。鉛筆、混合技法等により制作。中井英夫、久世光彦、皆川博子など小説の挿画、書籍の装丁は400冊を数える。画集「紙片の狭間へ」(青木画廊)、技法書「鉛筆で描く」、「不思議の国のアリス・鏡の国のアリス」(青土社)

《角度の測定ー星に従え!》

デカルコマニー、鉛筆、アルキド樹脂絵具
322×364mm



山本六三 /Mutsumi Yamamoto

1940年神戸市生。バタイユ、吉田一穂、塚本邦雄等挿画。濵澤龍彦からは銅版画のマニアリストと評されたが、その後、油彩においても、精緻な表現で神話、エロス、タナトスといった象徴的な主題を深化させた。2001年没。Bunkamura、兵庫県立美術館にて回顧展。

《マヌカン》銅版画 / 198×140mm



「ドラコニア逍遙記」

オマージュ瀧澤龍彦展 記念冊子

12月6日発売 ギャラリーロイユ発行

オマージュ瀧澤龍彦展〈ドラコニア逍遙〉展示作品（一部）の紹介、関連資料、写真のほか、5名の美術作家によるドラコニア逍遙記に加え、瀧澤龍彦とゆかりの深い4名からの特別寄稿を収録。

【特別寄稿】

- ・瀧澤龍子「瀧澤ダイアリ」
- ・巖谷國士「瀧澤龍彦の美術世界」
- ・山尾悠子「ドラコニアの周辺より」
- ・東雅夫「ドラコニアの軒先で」

定価 1,000円（税抜）

展覧会場、オンラインで販売いたします。



ドラコニア夜話

展覧会記念トークイベント
(定員各40名・事前予約制)

12月6日（土）18時から

対談 東雅夫氏 × 山尾悠子氏「ドラコニアの周辺より」
～幻想文学の旗手二人による夢の対談～



12月7日（日）18時から

講演 巖谷國士氏「瀧澤龍彦とは誰か」
～盟友が語る瀧澤龍彦～

各日、イベント後に食事会あり（定員15名）

※ 詳細はギャラリーのホームページをご覧のうえ、メールでお申し込みください。

2025年12月6日|土| - 28日|日| 13:00 - 18:00 (水木休廊)

GALERIE L'ŒIL

ギャラリーロイユ

650-0012 神戸市中央区北長狭通3-2-10 キダビル2F

Tel 078-595-9070

E-mail luna@g-loeil.com

URL <http://g-loeil.com>



交通アクセス

- ・JR／阪神「元町」駅東口から北東へ徒歩3分
- ・JR／阪急「三宮」駅西口から徒歩6分
- ・新幹線「新神戸」駅からタクシーで約8分
または地下鉄乗換「三宮」駅下車、徒歩7分
- ・神戸空港からポートライナー「三宮」駅下車徒歩8分

